

ホームページリニューアルのお知らせ

2017年4月、当社のコーポレートサイトが新しく生まれ変わりました。
URLを変更し、イメージも刷新、よりグループ体感が感じられるデザイン・コンテンツとなっております。

URL > <https://www.miraca.com/>



表紙の作品について

表紙の絵は、大石慶彦さん作「空のカーテン」（パラリンアート作品）です。

※「パラリンアート」とは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する、一般社団法人障がい者自立推進機構による活動です。みらかグループは「パラリンアート」を支援します。



みらかホールディングス株式会社

〒163-0408 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング
お問い合わせ：IR広報部 TEL 03-5909-3337
<https://www.miraca.com/>



第67期 | 株主通信

67th Business Report

2016.4.1 > 2017.3.31



Contents

グループメッセージ	2
株主のみなさまへ	3
みらかグループ 理念体系	4
トップインタビュー	5
みらかグループの事業概要	7
更なるグループ一体化経営へ向けて	8
連結財務ハイライト	9
セグメント別情報	10
新中期計画『Transform! 2020』	11
会社概要／株式の状況	13
株主メモ	14

人と医療のまんなかで、

私たちの仕事、

それは何百万、何千万というからだのデータを通して、
そして医療の現場で、人々の健康を見守っている仕事です。

その仕事は、表に見える仕事ではないけれど、
今日も人々と医療の間で健康を支えている。

私たちには、私たちだけが見えている未来があります。
それはたくさんのデータが教えてくれる、いのちの未来。

大きな世の中の変化の中で、
私たちにしかつくりだすことができない、健康の未来。

私たちは、見つけたい。

誰もが健康で長く生きられる社会のために、
まだ誰も気づいていない、人間のからだの可能性を。

私たちは、動きだす。

見守るだけでなく、何が大切かを自らが見つけ出し、
人々と医療の進歩を、確かな信頼でつなげていくために。

人と医療のまんなかで、

変わらない使命のために、
私たちはひとつになって、変わり続ける。



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第67期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の当社の決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。

このたび、株主のみなさまと当社とのコミュニケーションの向上を図るため、「株主通信」をお届けすることといたしました。

今後とも株主のみなさまにとって有用な情報をこの通信でお伝えしてまいりたいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表執行役社長 竹内 成和



医療における新しい価値の創造を通じて、 人々の健康に貢献します。

みらかグループ「第二の創業」

昨年6月の副社長就任を経て、10月1日より代表執行役社長としてグループ経営の舵取りを担ってまいりました。これまで約40年にわたって音楽や映画などに関わるエンタテインメント業界で働いてきた私が、

まったく異分野のヘルスケア業界へ転身したのは、これまでの業界の常識や固定観念に捉われず、客観的な視点から当社グループの新しい可能性を発掘したいと考えたからです。

市場が成熟しつつある中で、当社グループが更なる成長を遂げていくためには、旧態依然とした体制から脱却し、新しい何かに挑戦しなければなりません。そこで私たちは2017年を「第二の創業」のスタートと位置づけ、大きな変革の第一歩を踏み出したのです。

グループ一体化経営に向けて——

その第一歩として推進してきたのが「グループ一体化経営」です。

私はまず、「みらかグループ」という名前を使い、各社の社員に同じ企業グループの一員である自覚を促すことから始めました。グループロゴマークの刷新、グループメッセージ『人と医療のまんなかで、』の策定、理念体系の構築、さらにはマス媒体への企業広告の出稿などを次々と進めながら、社員の意識改革と意欲向上、そのためのみらかグループの社会的認知度アップなどに取り組んでおります。

また、人事制度や社内規定の統一にも着手し、新たな企業文化の基盤も

固まりつつあります。今後はグループ内での人材の流動化も促進し、より幅広い職場や業務の中で、社員一人ひとりが適性に合わせて能力を発揮できるような環境づくりを進めてまいります。

新中期計画とその先の未来

グループ一体化経営の目的は、単なる合理化や効率化ではなく、グループ会社同士が密に連携して知見を寄せ合い、互いに刺激し合うことで生まれる新たなビジネスの芽を育て、そして花開かせることにあります。

新たな中期計画『Transform! 2020』では、連結売上高ベースで年率約8%の成長を目標に掲げましたが、この数字は従来どおりの方法の延長線上で達成できるものではありません。この成長には新しいビジネスのインパクトが必要です。

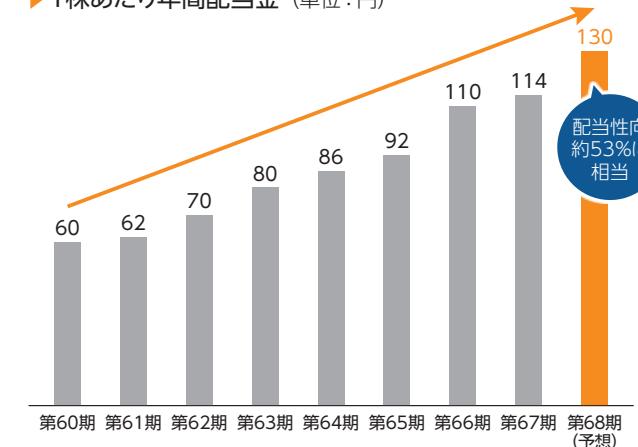
そのためにも、これから3年間、私たちは積極的な投資によってグループシナジーと研究開発の強化を加速させてまいります。「みらか中央研究所」の設立は、その象徴的なプロジェクトの1つと言えるでしょう。私たちは、この3年間を新たな事業の芽を育てる投資期間と捉え、さらにその先に大輪の花を咲かせる「十年の計」で、みらかグループの未来を創造していきたいと考えています。

株主のみなさまへ

株主のみなさまへの利益還元につきましては、今後は配当性向の基準を特別損益を除いた当期純利益の50%以上としてまいります。

“第二の創業”という大きな変革期を経て、みらかグループはより強く、しなやかに進化してまいります。医療における新しい価値の創造を通じて、人々の健康に貢献する私たちのこれからの、どうぞご期待ください。

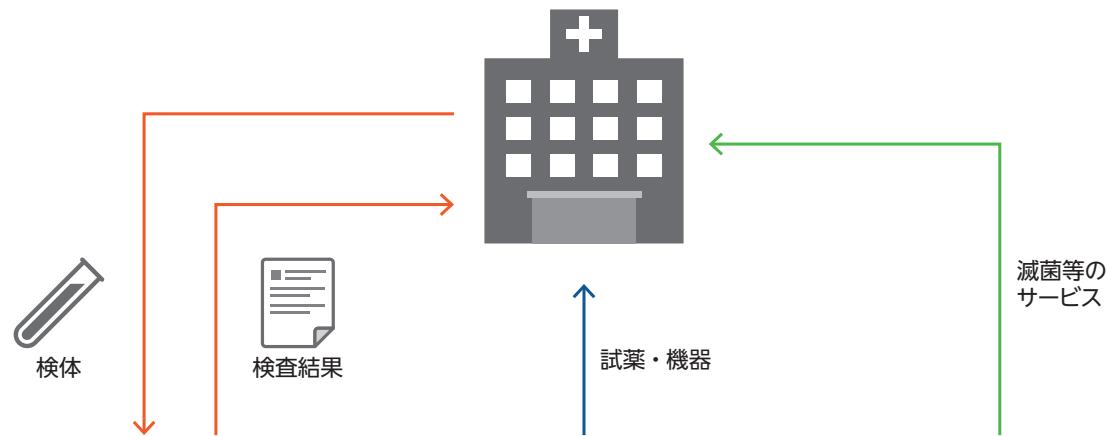
▶ 1株あたり年間配当金 (単位:円)



みらかグループの事業概要

みらかグループは、ヘルスケア分野で臨床検査を中心に以下の3つの事業を展開しております。

- ①受託臨床検査事業…… 医療機関より患者様から採取した検体をお預かりし、病気の有無や健康状態の検査を行います。
- ②臨床検査薬事業…… 臨床検査に使用される検査試薬や検査機器の開発・製造、国内外への販売を行います。
- ③ヘルスケア関連事業…… 滅菌受託や治験支援など様々な医療関連サービスを提供します。



受託臨床検査事業



臨床検査薬事業



ヘルスケア関連事業



更なるグループ一体化経営へ向けて

～ロゴマークの刷新、グループメッセージの制定～



みらかグループは2005年の設立以来、受託臨床検査事業、臨床検査薬事業、ヘルスケア関連事業の主要3事業を中心に事業展開を進めてまいりました。グループ設立から11年を超え、大きく変わる事業環境に対応していくため、2017年4月、更なるグループ一体化経営を目指す決意のもと、グループロゴマークを刷新しました。

また、新たにグループメッセージ「人と医療のまんなかで、」を制定しました。これは、事業活動における「みらからしさ」と、それを支える精神・姿勢を示したものです。いのちと向き合う誠実な姿勢を持ち、事業を通じて人々と医療の架け橋でありたい、という想いを込めています。

日本経済新聞にも企業広告を掲載しました。これからも新しいみらかグループを社内外へ発信してまいります。



連結財務ハイライト

売上高

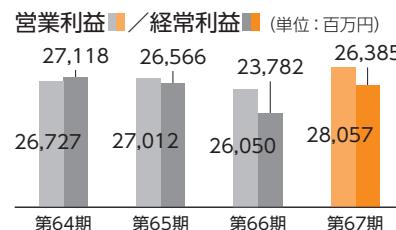
売上高
2,042億45百万円
前期比 3.5%減



当期の売上高は、主要な海外子会社の売上高が伸長したものの、円高の影響および国内事業の減収により減収となりました。

利益

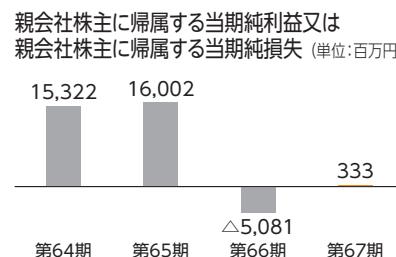
営業利益
280億57百万円
前期比 7.7%増



利益面では、主に海外子会社における利益増および国内臨床検査薬事業におけるプロダクトミックス変化に伴う利益増により、営業利益、経常利益ともに増益となりました。

なお、当社の子会社である株式会社エスアールエルにおける自社利用ソフトウェア（「ナビラボ」）の開発プロジェクト中止にかかるプロジェクト整理損失を、また、当社の米国子会社であるMiraca Life Sciences, Inc. におけるのれんの減損損失をそれぞれ特別損失として計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は333百万円となりました。

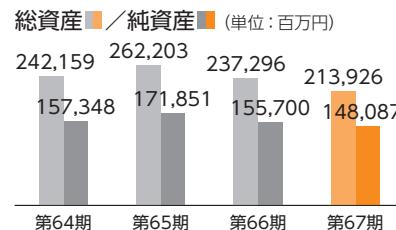
経常利益
263億85百万円
前期比 10.9%増



親会社株主に帰属する当期純利益
3億33百万円

資産

総資産
2,139億26百万円
前期比 9.8%減

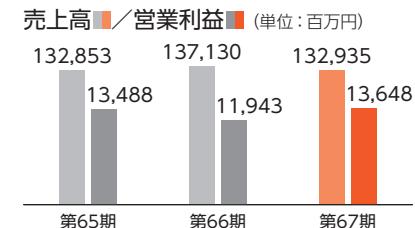


当期の総資産は、現金同等物の増加があった一方、ソフトウェア、のれん等の減少により前期末に比べ23,370百万円減少し、213,926百万円となりました。

純資産
1,480億87百万円
前期比 4.9%減

セグメント別情報

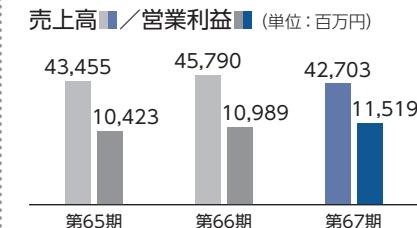
受託臨床検査事業



海外事業における検査受託数が増加したものの、円高の影響および国内事業の減収により、減収となりました。利益面では、海外事業における増益およびのれん償却費の減少を主要因として、増益となりました。

これらの結果、売上高は132,935百万円(前期比3.1%減)、営業利益は13,648百万円(前期比14.3%増)となりました。

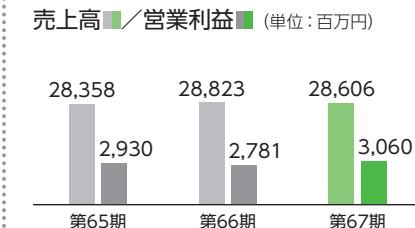
臨床検査薬事業



米国子会社における製品販売が伸長したものの、主に円高の影響と国内事業の減収により減収となりました。利益面では、国内事業におけるプロダクトミックスの変化および経費の減少により増益となりました。

これらの結果、売上高は42,703百万円(前期比6.7%減)、営業利益は11,519百万円(前期比4.8%増)となりました。

ヘルスケア関連事業



滅菌事業は、継続して受託病院の新規獲得に努めた結果、増収となりました。

治験事業は、引き続き新規案件の獲得に注力した結果、増収となりました。

一方、感染防止商品販売事業を前年3月に終了したことにより、その他事業は減収となりました。

これらの結果、ヘルスケア関連事業の売上高は28,606百万円(前期比0.8%減)、営業利益は3,060百万円(前期比10.0%増)となりました。

Topics

富士レビオ 免疫・生化学検査の連結機を発売開始

2017年4月、富士レビオは、主力製品の全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス®L2400」と、日本電子株式会社の生化学自動分析装置「BioMajesty™ ZERO JCA-ZS050」を連結し、免疫・生化学検査の連結検査装置としての販売を開始しました。

1つの検体から免疫検査および生化学検査の両方が可能となることで、検査の迅速化や効率化への貢献を目指してまいります。



ルミパルス®L2400およびBioMajesty™ ZERO JCA-ZS050の連結検査装置

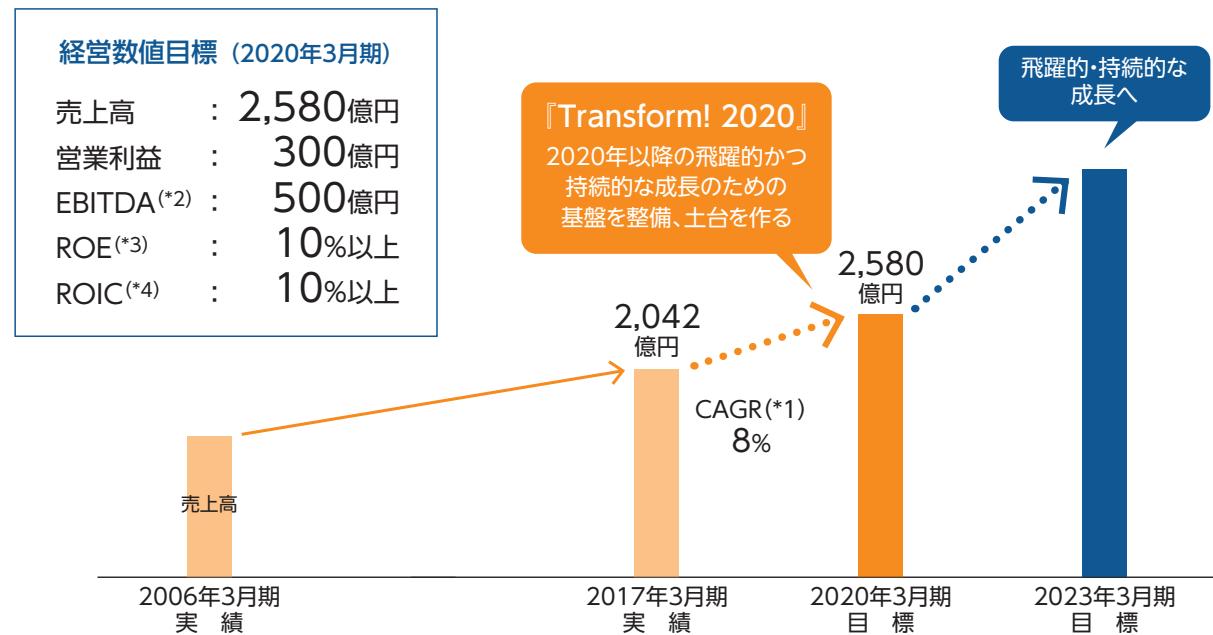
新中期計画『Transform! 2020』 (2018年3月期-2020年3月期)

～飛躍的かつ持続的な成長の実現に向けて～

臨床検査業界は、先進国における医療費抑制と経済成長の減速に伴い成長が鈍化しておりますが、一方で、高齢化の進展、国内開業医市場の拡大、新興国市場の成長、先進医療技術の向上やIT技術の進展など新たな成長の機会があり、事業環境の様相は刻々と変化しております。

このような状況のなか、みらかグループは、将来の飛躍的かつ持続的な成長のために、各事業の成長戦略および地域戦略を抜本的に見直し、2017年5月に新中期計画を策定いたしました。

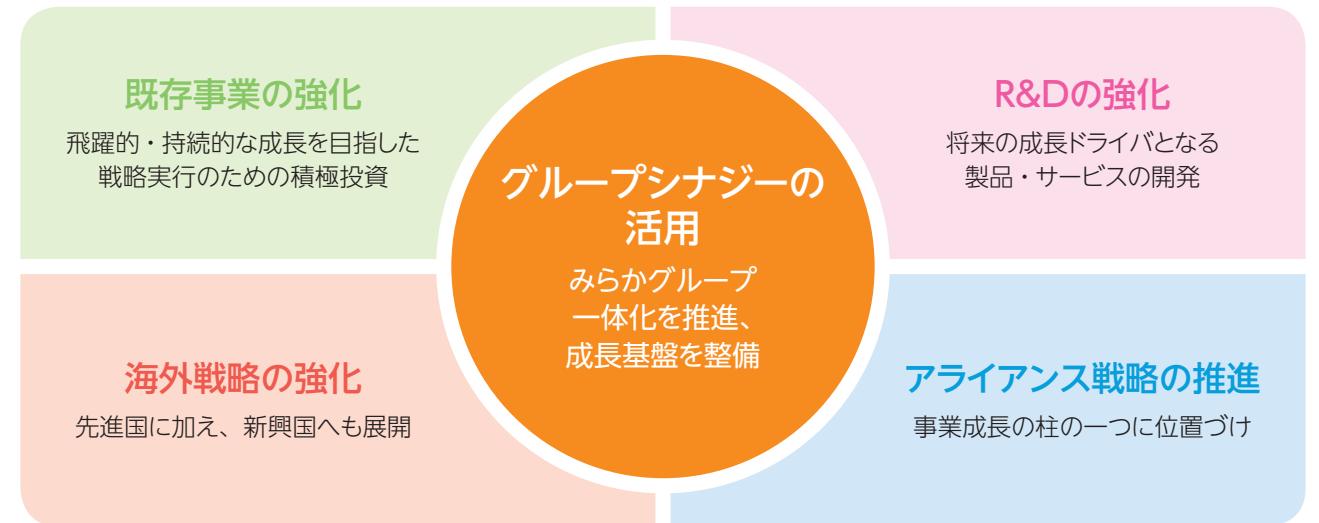
2017年を「第二の創業」と位置づけ「変革」を実行するべく、本計画を『Transform! 2020』と名付け、飛躍的かつ持続的な成長の実現に向け、グループ一体化によるシナジーの活用、成長基盤の整備、組織と業務の変革を進めてまいります。



*1 CAGR: 年複利成長率 *2 EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費
 *3 ROE (自己資本当期純利益率) = 当期純利益 / (自己資本の期首・期末残高の平均)
 *4 ROIC = NOPAT (営業利益-みなし法人税) / 投下資本【(純資産+有利子負債(リース債務含む)+その他の固定負債)の期首・期末残高の平均】

【重要施策とポイント】

本中期計画の重点施策である「既存事業の強化」「R&Dの強化」「海外戦略の強化」「アライアンス戦略の推進」をグループ一丸となって実行してまいります。



- | | | |
|--|--|---|
| <p>1. 受託臨床検査事業の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○院内検査事業への積極投資 (医療機関との取引強化) ○国内開業医市場の獲得 ○国内健診市場の獲得 | <p>2. 臨床検査薬事業の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ルミパルス事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国内シェアの拡大 (大型機の世代交代に伴う需要取り込み) ・海外展開の強化、新興国への参入 ○次世代プラットフォームの開発 | <p>3. みらか中央研究所の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業会社の基礎研究機能を集約・強化 ○グループ企業・外部機関との協業強化 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>生み出されたシーズを事業化</p> |
|--|--|---|

会社概要 (2017年3月31日現在)

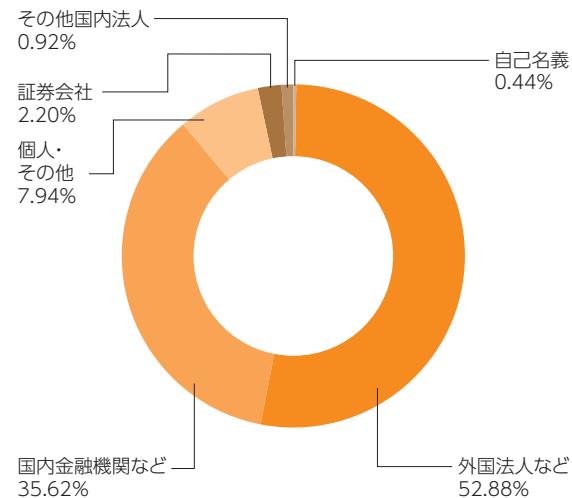
社名 みらかホールディングス株式会社
 本社所在地 〒163-0408
 東京都新宿区西新宿2-1-1
 新宿三井ビルディング
 TEL: 03-5909-3335 (代表)

資本金 8,962百万円
 経営体制 指名委員会等設置会社
 従業員数 6,116名 (連結)

株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式の総数 57,287,166株
 1単元の株式数 100株
 株主数 5,034名

所有者別株式数の状況



大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,977.2	6.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,926.0	6.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,170.1	3.80
株式会社みずほ銀行	2,132.1	3.74
第一生命保険株式会社	2,000.7	3.51
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,546.7	2.71
日本生命保険相互会社	1,538.6	2.70
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,322.2	2.32
明治安田生命保険相互会社	1,272.2	2.23
GOVERNMENT OF NORWAY	1,007.0	1.77

(注) 1. 持株比率は自己株式251,376株を除いて計算しております。
 2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数は、全て信託業務に係るものであります。
 3. 株式会社みずほ銀行の株式数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式2,131.5千株 (持株比率3.74%) を含んでおります。
 (株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 公告方法 電子公告 (<https://www.miraca.com/>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (※) (※) トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 (※) およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※) トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。